

# 第一新聞

発行所  
第一未来館  
Tel:088-655-5001

第150号



## 第1回 基礎学力テスト

## 受験勉強の季節

10月2日、中学3年生にとって最も重要視される「第1回基礎学力テスト」が行われました。思い通りに点数がとれた科目、ミスが目立ち点数が伸びなかった科目、それぞれ思うことがあったのではないのでしょうか。

第2回は11月中旬、それまで約1カ月しかありません。でも考えようによっては「まだ1カ月もある」になるのではないのでしょうか。今回間違ったところの復習をしっかりと行い、次回からは1・2年内容だけではなく、いよいよ3年内容も出題されるので、その対策・準備を、計画的に進めていきましょう。時間は有限ですが有効にさえ使えばたくさんあります。

また、平日の勉強時間の確保の仕方と休日の過ごし方をもう一度見直してみよう。自分に必要な勉強は？時間数は？最適な方法は？考えて実行に移すことが一番大事です。私たち講師陣も含め、クラス全員で本当の実力をつけていく10月に向けていこう！

(竹田先生)



## 受験勉強の季節

小学6年生のみなさん！10月になると、いよいよ中学受験に向けた本格的な勉強の時期がやってきます。ぜひともこの時期は、今までで一番、勉強時間を作り、今までで一番、がんばる時期にしてほしいと思います。少しずつ積み重ねてきた勉強の成果が、目に見える結果へとつながるよう努力してください。自身は、受験の可否などに関わらず、必ず自らの大きなチカラとなるでしょう。だからこそ、今の努力は無駄になることは決してありません。一日一日を大切に、自分の目標に向かってがんばってください。徳島第一ゼミでは、みなさんの努力を全力で応援しています！

(日下先生)

## 勉強をする理由

いきなりですが、以下はある小学生がイチロー選手に質問したときの会話です。  
小学生「ねえ、イチロー選手、一流の野球選手になるためにはどうしたらいい？」  
イチロー「君、その前にちゃんと宿題してる？」  
小学生「・・・え？ ぼくは勉強が嫌いだから宿題もしてないよ。でも、僕が聞いているのは一流の選手の方だよ。なんで宿題が関係あるの？」  
イチロー「目の前の課題から逃げる人は、どんな課題からも逃げるんだ。宿題から逃げる人は野球からも逃げるんだ。だから一流の選手になりたかったら、ちゃんと宿題をやることだね」  
イチローは私たちの世代にとっては、皆さんにとっての大谷翔平のような存在だった選手ですが、そんな偉大なスポーツ選手の言葉を聞いて



(宇都宮先生)

## 10/10 中学部だより(10月度)

皆さんはどう感じますか？ここには勉強をする理由の一端が表れていると思います。  
ここからは私なりの勉強をする理由を述べたいと思います。  
塾生の中には、「行きたい大学、なりたいたい職業がわからない。でも周りが勉強してるし、なんとなく大学に行きたいから勉強するけど、いまいちゃやる気が出ない。」という子がいます。本音を言えば、ほとんどの子がそうなのではないでしょうか。ただし、やりたいうことやそのために進むべき進路が見つかったときに、準備をしていいたかどうか大きな差になります。この準備をしっかりとっていた子が目標を見つけた時の爆発力、これはすごいものがあります。みるみる実力をつけていき、選択肢も増えていきます。つまり可能性が広がるということです。そしてこれは生徒や学生だけでなく、大人にも同じことが言えるのではないのでしょうか。

大人になってから本当にやりたいうことが見つかる人もいるかもしれませんが、そうしたら人が過去に勉強に向き合っていたか、なんと多くの知識の記憶があるのか、勉強の仕方を知っているか、これらの差は可能性の差と言えるのではないのでしょうか。いずれにせよ、勉強をして損というのではないと思えます。なぜなら「若いころにもっと勉強しておけばよかった」と後悔する大人はたくさんいますが、「勉強しなければよかった」と言っている大人を見たことはありません。

中3生の皆さん、いよいよ第1回基礎学力テストが10月初めにあります。高校進学に大きく影響する大切な学力テストの第1回目です。今回のテストでは英語・数学・国語は中3生、理科や社会は中2生までの学習内容が出題範囲でした。3回のテストでどの程度点数が獲得できるかが勝負になります。  
現在、少しずつ中3生を対象とした保護者面談(二者or三者)を進めております。基礎学力テストの合格者平均点の推移を面談時に確認頂くと、自分の生きたい志望校に対して、どれくらい立ち位置にいるのかが具体的にわかります。  
そこでよく話題に出てくるのが、どのように勉強を進めていけばよいか、ということですが、勉強のすすめ方は、その都度、中3生の皆さんには伝えていきますので、保護者様ならまだしも、受験生の皆さんからその質問がフレッシュなおかしな話なのです。心を引き締めましょう。  
また、中3生は受験対策強化講座として、別日程で、理科と社会・国語の時間があります。自分の成績、目指す高校、伸ばすべき教科という視点でちゃんと考えてみましょう。自分でやってみるといって、すでにある程度の点数が取れている場合のことです。現状の成績で満足できていないのであれば、今のうちでできる限りのことをやっておかなければ、伸びるものも伸びなくなってしまうですよ。早く決断をして、次の学習ステップへ進みましょう。  
あともう一つお話ししたいことがあります。それは勉強する時の「姿勢」です。これは小・中・高の塾生達全員に言えることでもありますが、頭を下げて机に近づけすぎた状態で勉強を続ける子が多く、そのような子は癖になっていくような気がします。正しい姿勢を続けると、胸が開いて肺に空気を取り込みやすくなるため、自然と呼吸が深くなりやすくなります。深い呼吸は全身の血行をよくしたり、脳に酸素を十分に送り込んで活性化したりする効果があります。そのため、長時間勉強を続けていても疲れを感じにくくなったり、集中力がアップしたりといったメリットがあります。また、肩こりや腰痛を防いだり、体のゆがみを改善したりといった効果も、さらに教材の字と目との距離が適度に保たれて目の負担が減り、目も疲れにくくなります。  
長時間の勉強に慣れていくため、そして継続させていくためには、適度に休憩をとると良いです。正しい姿勢をとり続けるには、筋力が必要です。そして、長時間同じ姿勢で座っていると、筋肉が硬直し血流も悪くなるので、最低でも1時間に1回程度は休憩をとるようにしましょう。その際、伸びをしたりストレッチをしたりして体をほぐすのがおすすめです。  
これからの半年間は特に受験生としてどのように過ごしていくかで、より良い結果へと変化をしていくでしょう。中3生の皆さん、そして小6生の皆さんも、自分の受験勉強に対する姿勢に、より厳しくなって下さい。今のままで満足してはいけませんよ。

(工藤先生)



## 継続は力なり

英語は暗記科目だとよく言われますが、私は実技科目だと思っています。というのも「理解して終わり」ではなく、「理解したのち実践する」が含まれるからです。スポーツもルールを覚えたら上手くなるものはありませんね。部活をしている人なら言われずともよくわかっていてと思います。毎日何時間もトレーニングして筋肉をつけ、技を磨くことで上達していきます。アウトプットとなるス

ピーキング、ライティングはもちろん、インプットと言われるリスニングやリーディングでさえも、ある程度の難易度になると毎日の訓練が欠かせなくなってきました。  
例えば「リスニングが苦手」という生徒に度々出会うのですが、「その子たちに「毎日英語聞いている？」と聞くと大半が「聞いてない」と答えるのです。厳しいことをいいますが、「苦手なものになぜ練習しないのか」というのが私の本音です。部活をしている時に練習せずに上手くなれるとは思っていませんよ。ではなぜ勉強に關しては苦手とわかっていながら練習しないのか。英語を実技と捉えていないということもあるとは思いますが、それ以上に「嫌いだから」「興味がないから」という理由が大きいのだろーなと思います。好きこそものの上手なれとはよく言ったものです。とはいえ、何を理由にしよう、いくら相談されようと、本人がやらない以上は誰にもどうしようもできないのです。  
それにしても果てしない数の英語・英熟語が存在する中、それを覚えるだけでも一苦労ですが、それだけで終わらず今度は使いこなせるようになれと要求される世の中なのは、なかなか手厳しいですね(目指す進路にもよりますが)。さらに他の教科と並行して勉強しなければならぬとなると、単純に考えてもいかに時間がかかるといっていいと思います。  
継続が何より大事と言われる英語は、むしろ継続的にやらないと絶対に伸びない教科なのです。

(今岡先生)

## 虚無。

